

令和 5（2023）年度学校法人福岡大学事業計画



学校法人福岡大学では、令和 16（2034）年の福岡大学創立 100 周年に向けた将来像を掲げ、その実現に向け、これからの 15 年間で 3 期に分けたうえで、令和 2（2020）年からの 5 か年の行動計画として、「学校法人福岡大学中長期計画（第 1 期 2020-2024）」を策定しました。この第 1 期中長期計画では、「教育」「研究」「医療」「地域連携・社会貢献」「組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備」の 5 つの重点項目（分野）について、本法人としての目標及び推進項目を設定し、従来から取り組んできた単年度ごとの事業計画と連動させることにより、確実に計画を実施しているところです。

令和 5 年度学校法人福岡大学事業計画では、少子高齢化の進行、グローバル化の進展、科学技術の発展等に伴う高等教育機関を取り巻く環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による生活や価値観の劇的な変容を受け、ウィズコロナに対応した事業の在り方を再検討、再構築するという観点を含めて、重点的に取り組む内容を掲げました。

具体的には、「共通教育に係るアセスメントプランの策定」「カーボンニュートラルに資する新たな研究推進策の実現に向けた支援」「病院経営基盤の強化」「多様な人材の活用」「既存施設の有効利用の検討」等、中長期計画に掲げる 5 つの分野ごとに取り組む項目を掲げています（詳しくは次頁以降をご覧ください）。

現在、本法人ではスローガンとして「Rise with us」を掲げ、学生・生徒、教職員、卒業生そして地域社会が一体となって連動・拍動し、開かれた自由闊達な議論を通して共に成長・発展することで、我々の使命である、時代に即応しグローバルに貢献する教育・研究・医療の提供を目指しています。

目指すべき法人像に向けて、建学の精神に基づき、教職員が一丸となり、この事業計画を着実に実行するとともに、オールド福大レジームから脱却し、「ニュー福大」の基盤構築を推し進めていくことで、教育・研究・医療を通じた社会貢献に寄与するよう邁進してまいります。

Fukuoka University's Five Ss
Steady
Sensible
Sincere and Strong
Spirited

主な取組項目

1. 教育

(1) 大学

- ・ 「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」(MDASH - Literacy) への申請
- ・ 共通教育に係るアセスメントプランの策定
- ・ 障がいや合理的配慮等に係る学内啓発活動の強化
- ・ スポーツブランド力向上に係る戦略の策定及びスポーツ強化に向けた支援体制の整備
- ・ 留学生サポーター制度(仮称)の導入
- ・ 留学生との交流機会の拡充
- ・ 大学院におけるカリキュラム・マップの作成
- ・ 企業や自治体が抱える課題に学生がチームで解決に取り組むプログラム(PBL)の推進
- ・ 図書館利用者の満足度向上に向けた環境整備及び図書館活用企画の実施
- ・ 学生の主体的な学びの促進及び学修支援に向けた次世代 ICT 環境の整備

(2) 附属学校

① 附属学校共通

- ・ 教員の ICT 活用能力の向上
- ・ グローバル教育の実施

② 大濠中学・高等学校

- ・ キャリア教育の推進
- ・ 教育環境(施設・設備)の充実

③ 若葉高等学校

- ・ 「新教育ビジョン」の検証と改革の推進
- ・ 教員の進路指導力向上に向けた研修の実施と進路講話等の充実

2. 研究

- ・ 研究成果(知的財産)の活用の促進
- ・ 研究倫理・コンプライアンス教育の強化
- ・ 安全保障輸出管理に係る管理体制及び研究者向け教育内容の充実
- ・ カーボンニュートラルに資する新たな研究推進策の実現に向けた支援
- ・ 大学発ベンチャーの創出・運営支援

3. 医療

(1) 医療施設共通

- ・ 病院経営基盤の強化
- ・ 医師の働き方改革への対応

(2) 福岡大学病院

- ・ 将来計画の実行・進捗管理
- ・ 先進の高度医療を実現する新本館の建設
- ・ 特定機能病院としての高度医療の提供
- ・ 地域医療への貢献

(3) 福岡大学筑紫病院

- ・ 将来計画（経営改善計画）の推進
- ・ 診療体制の再構築

(4) 福岡大学西新病院

- ・ 将来構想の策定
- ・ 診療体制の見直しに伴う収益力の向上

4. 地域連携・社会貢献

- ・ 「福岡未来創造プラットフォーム中長期計画 2019-2023」に基づく産学官連携・交流の促進

5. 組織改革・施設整備・財政基盤・人事制度

- ・ 感染症等に対応した BCP の策定
- ・ 職員の時間外労働の縮減及び年次有給休暇取得日数の促進
- ・ 多様な人材の活用
- ・ 学内広報の一体化及び各部門との連携強化等による情報発信
- ・ 奨学基金の拡充
- ・ 寄付金事業の強化
- ・ 新築建物の工事監理
- ・ 既存施設の有効利用の検討
- ・ 非構造部材の耐震対策
- ・ 医学部建物内のバリアフリー化計画の検討